

庁議事案書

日 付	令和6年10月22日（火）	会議種別	政策会議
事案名称	茅ヶ崎市一般廃棄物処理基本計画（素案）について		

1. 事案の概要

提案理由 取り組み内容	【背景・目的】 一般廃棄物処理基本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条に規定される法定計画です。この度、現行計画の計画期間が令和6年度で満了となることから、国内外の廃棄物処理に関する動向や現行計画の目標達成状況などを踏まえ、次期計画を策定するものです。 【計画の概要】 本計画は、一般廃棄物処理基本計画策定指針に基づき、一般廃棄物の排出抑制及び適正処理を進めるために必要な基本的事項を定めています。本計画は、「ごみ処理基本計画」、「食品ロス削減推進計画」及び「生活排水処理基本計画」で構成され、計画期間は令和7年度から10年間とし、10年度から2箇年かけて、社会経済情勢の変化などに応じた中間見直しを行います。 【策定のポイント】 上記各計画に掲げた基本理念を達成するため、計画毎に基本方針及び施策を設定しています。また、それらの内容については、附属機関からの答申を踏まえたものです。なお、「食品ロス削減推進計画」は、食品ロス削減推進法に基づく地方公共団体における「食品ロス削減推進計画」に相当する計画となります。 【今後の主なスケジュール】 全員協議会（11月22日）→パブリックコメント（11月26日～12月25日）→計画の公表（2月）
審議事案等	茅ヶ崎市一般廃棄物処理基本計画（素案）について

2. 行政計画等との関係

(1)茅ヶ崎市総合計画					
主たる政策目標	5.豊かな自然と共存し、心地よい生活環境のあるまち				
関連する政策目標	政策目標 1	政策目標 6			
(2)その他関連計画	茅ヶ崎市環境基本計画				
(3)関係法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				

事案担当	環境部資源循環課	内線	1223
関係部課	環境部環境事業センター・環境保全課・ 下水道河川建設課・下水道河川総務課		

政策会議結果報告書

1 開催日	令和6年10月22日（火）
2 件 名	茅ヶ崎市一般廃棄物処理基本計画（素案）について
3 事案担当	環境部資源循環課
4 関係部課	環境部環境事業センター・環境保全課・下水道河川建設課・下水道河川総務課
5 出席者	■ 市長 ■ 副市長 ■ 副市長 ■ 教育長 ■ 病院事業管理者 ■ 出席 □ 欠席
6 説明者	資源循環課長
7 会議結果	本案件については、提案のとおり承認される。
8 主な意見等	* 資料2（概要版）の2ページ「(1) 前計画の目標達成状況」は、令和5年度の実績でよい。【塩崎副市長】 → そのとおりです。 * 同項目について、最終目標を達成していないが、その要因は将来人口の推移が変化したことによるものか。【塩崎副市長】 → その一因であると考えています。 * 資料2（概要版）の2ページ「(3) 基本目標（指標）」の「ごみの年間排出量」について、実績を踏まえて前計画の最終目標より増やしているのか。【塩崎副市長】 → そのとおりです。令和5年度までの実績を踏まえて改めて設定しました。 * 同項目について、資料1（本編）と資料2（概要版）で異なる表を用いている。資料1には中間目標も記載されてることから、資料2にも同じ表を用いた方が分かりやすい。【岸副市長】 → 表現を工夫します。 * 同項目に「1人1日当たりの家庭系ごみ排出量」を掲げている一方、次ページの「(4) 目標達成に向けての施策の設定及び展開」には事業系ごみと家庭系ごみの両方を掲げている。どのような意図があるのか。【教育長】 → 政策調整会議の時点では、事業系ごみも含めた「1人1日当たりのごみ排出量」という基本目標を掲げていましたが、各家庭における家庭系ごみの減量の実績を評価すべきとのご意見、並びに「神奈川県循環型社会づくり計画」との整合を図るため、「1人1日当たりの家庭系ごみ排出量」に修正しています。 * 小・中学校から排出するごみも事業系となるため、どのように減量への取組を進めていけばよいか周知等をお願いしたい。【教育長】

- * 資料2（概要版）の3ページ「(4) 目標達成に向けての施策の設定及び展開」において、「環境教育の推進」の施策が掲げられているが、この中に学校教育は含まれるのか。【病院事業管理者】
- 資料1（本編）の32ページに具体的な取組として「環境学習プログラムの実施」を掲げており、この中で実施していくことを想定しています。

- * この表現だと、一般の方向けの環境教育に見て取れる。【病院事業管理者】
- 学校教育が含まれることが分かるよう、表現を工夫します。

- * 資料1（本編）の41ページのコラムに「一人1日、たまご1個分の食品ロスが発生」とあるが、この指標には事業系ごみも含まれることから、ミスリードにはならないか。【病院事業管理者】
- このコラムの主旨としては、市民一人当たりの食品ロス量が国民一人当たりの食品ロス量よりも少ないことを示すものであることから、このような表現としています。

- * 分かりやすい表現の方がよい。【病院事業管理者】
- * コラムなので、説明を加えた方がよい。【岸副市長】
- 表現を工夫します。

- * 資料1（本編）の52ページの施策に掲げる「フードドライブ」について、用語の説明があった方がよい。【病院事業管理者】
- 43ページのコラムに用語の説明を記載しています。

- * 最近、メディアで「ドギーバッグ」の取組を目にする。相模原市の一般廃棄物処理基本計画にも取り上げられているようだが、審議会ではそのような意見がなかったか。【病院事業管理者】
- 「ドギーバッグ」に関する意見はありませんでした。なお、今後、衛生課と連動した取組として進めていければと考えていますが、現時点では具体的に明記していません。

- * 「湘南祭」など民間でも取組が進められていることから、将来に向けて考えていく必要がある。【市長】